

令和2年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【2年目】

P T A名	静岡県立西部特別支援学校 P T A
学 校 名	静岡県立西部特別支援学校 <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input checked="" type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
全校児童・生徒数	136人

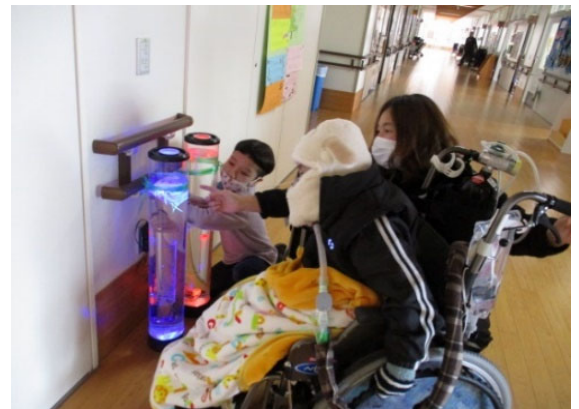
1. 使用状況

寄贈物品名	アクアランプ
使用学年及び人数	小学部1年生から高等部3年生
使用頻度	光を使った学習及び休み時間
使用状況	<p><小学部></p> <ul style="list-style-type: none"> ○单元名 遊びの学習「光ってるよ！ 触ってみよう！」 ○使用の方法 ・暗くした教室でアクアロングチューブを光らせて、クラゲの動きを見る。 ・自分から手や指を動かしてアクアロングチューブ本体に触ったり、スイッチを動かしたりした。 <p><中学部・高等部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室や廊下等に置き、休み時間にアクアロングチューブの中のクラゲを見て楽しんでいる。昼休みにも楽しんでいる。
物品の使用による変化や効果	<ul style="list-style-type: none"> ・授業以外においてもいろいろな場所に設定できることで、児童生徒が見つけ、じっと見つめる。手を伸ばして触ろうとする。などの姿がよく見られ、感覚刺激の効果は大きい。 ・光の色の変化に気づいて楽しむ姿が見られた。 ・光だけでなく、振動に気が付いて触れて楽しむ生徒もいた。
今後の活用の見通しや課題	今後も光を使った感覚刺激に満たされた環境、児童生徒の楽しみや安らぎを共有できる雰囲気を作り出す環境、緊張が強い児童生徒にとってリラクゼーションできる環境を、年間を通して設定していきたい。
その他希望や所感など	

2. 活用の様子



「たのしい！」と声を出して光るクラゲや動くクラゲをよく見ていました。



「ここにあったよ。」友達に教えてあげて、みんなで見ていました。

スイッチを押すと色が変わるのを楽しんでいます。

